

## 《Lesson 3》 “It △△ to □□” (for ○○ の省略)

### 《 “It △△ for ○○ to □□” (for ○○ の省略) 》

“It △△ for ○○ to □□” の文では、以下の状況の時 「誰 (何) にとって」という意味 “for ○○” を省略し “It △△ to □□” (□□することは、△△です) とすることができる。

- (1) 文脈上、すでに誰 (何) について話しているかわかっている場合。
- (2) 「一般論」「自分の意見」などを述べる場合。

<例> **It** is easy **to** use this machine. (この機械を使うのは簡単です)

**It** was interesting **to** listen to her story. (彼女の話をお聴くのは興味深かったです)

### 【 “It △△ to □□” の文：作り方】

ステップ①：「主語」を見つけて “to □□” (to不定詞) の形にする。

ステップ②：主語が「何 (どういう状態) なのか」を見つけて “It △△” の形にする。

ステップ③：“It △△ to □□” の形にする。

#### <例1> 「この機械を使うのは簡単です」という文の場合。

ステップ①：「主語」を見つけて “to □□” (to不定詞) の形にする。

主語：「この機械を使うの」 = to use this machine

ステップ②：主語が「何なのか」を見つけて “It △△” の形にする。

主語が何なのか：「簡単」 = It is easy

ステップ③：“It △△ to □□” の形にする。

It is easy to use this machine.

#### <例2> 「彼女のお話を聴くのは興味深かったです」という文の場合。

ステップ①：「主語」を見つけて “to □□” (to不定詞) の形にする。

主語：「彼女のお話を聴くの」 = to listen to her story

ステップ②：主語が「何なのか」を見つけて “It △△” の形にする。

主語が何なのか：「興味深かった」 = It was interesting

ステップ③：“It △△ to □□” の形にする。

It was interesting to listen to her story.

### ポイント！ “It △△ □□ing” の形

“It △△ to □□” の “to □□” (to 不定詞) の代わりに、“It △△ □□ing” という動名詞の形も、しばしば使われる。しかし、この形では、△△に入る単語が nice / fun など限られている（熟語的な構文が中心）ため、現段階では参考程度に覚えておけば十分。

<例> It was nice **meeting** you. (お会い出てよかったです)

<Nice to meet you. とは違い、初対面の人と話し、別れ際などに使うフレーズ>

It was fun **talking** with him. (彼と話すことは楽しかったです)

<It was fun **to talk** with him. も可>